

平成 30年 10月 23日

(あて先) 一宮市長

<申請者>

所在地 一宮市大和町荻安賀3291

団体名 つなハピ

代表者 職・氏名 代表・徳田 洋美

一宮市市民活動支援金交付申請書

一宮市市民活動支援金の交付を受けたいので、一宮市市民が選ぶ市民活動に対する支援に関する条例第5条の規定により、下記のとおり申請します。

記

1 事業の名称	子育て支援事業		
2 事業の分野 〔主たる分野を一つ 選択し、○で囲んで ください。〕	保健・医療・福祉 観光の振興 環境の保全 人権・平和 ○ <u>子どもの健全育成</u> 経済活動 NPO支援	社会教育 農山漁村・中山間地域振興 災害救援 国際協力 情報化社会 職業能力・雇用機会 その他()	まちづくり 文化・芸術・スポーツ 地域安全 男女共同参画 科学技術 消費者の保護
3 支援金交付申請額	318,933円		

(算出基礎)

事業に要する経費 (a)	478,400円
事業に要する経費のうち対象となる経費 (b)	478,400円
当該事業によって得られる収入 (c)	0円
支援金交付申請額※ 上限:「(b)×2/3」または「(a)-(c)」のいずれか高くない方	318,933円

※ 1円未満切捨て

4 添付書類

- (1) 一宮市市民活動支援に係る団体調書(様式2)
- (2) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る計画書(様式3)
- (3) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る収支予算書(様式4)
- (4) 団体の規約その他これに類するもの



備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4(片面印刷)とする。

一宮市市民活動支援に係る団体調書

団 体 名	つなハピ		
市内事務所の所在地	〒491-0934 一宮市大和町荻安賀3291		
代表者 職・氏名	代表・徳田 洋美		
設 立 年 月	2007年	5月	構成員の人数 72人
U R L	http://tsunahappy.justhpbs.jp/		
連 絡 先 ※この申請に関する 問合せに対応できる方	(担当者氏名) 徳田 洋美		
	電 話	0586-45-0782	F A X 0586-45-0782
	E-mail	tkutku@owari.ne.jp	
団 体 の 目 的	「つながり合ってハッピーになろう」を合いことばに、子ども・父母・教師市民が、さまざまな活動を通し、楽しみながら教育や子育てについて学び合うことを目的としている。		
主 な 事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して、講演会・学び合い・親子でトライ（文化・創作活動、栽培活動、自然観察、各種授業）を設定する。 ・出前授業の講師派遣をする。 ・教育相談活動を行う。 ・団体ホームページの運営と情報紙「つなハピ通信」の発行を行う。 		
主 な 活 動 の 実 績	<ul style="list-style-type: none"> ・「一宮子どもと教育を語るつどい」を毎年主催し、200～300名の講演会を実施している。最近3年間の講師は、大河原美以、金田一清子、金森俊郎氏の各氏で今年度は鎌倉博氏を予定している。 ・「親子でトライ」はハイキング（中野の渡し）5/28、天体観測（柳下公園）6/3、親子キャンプ（こうじびら山の家）7/29～30、うどん作り10/9、しめ縄作り11/25、参加者合計128名（昨年度） ・「例会・学び合い」は3月まで12回、参加者合計約220名（昨年度） ・「出前授業」は小学校・子ども会など29回延べ1945名余が利用（昨年度） 		
今年度予算額	471,920円	昨年度決算額	518,798円
条例第2条第3項に掲げる要件について	すべて満たしている ・ 一部または全部満たしていない		
市からの他の補助金等の有無	有（補助金等の名称： ） ・ 無		

一宮市市民活動支援事業に係る計画書

<p>団体名</p>	<p>つなハピ</p>
<p>事業の名称</p>	<p>子育て支援事業</p>
<p>事業の内容</p>	<p>(1) 実施期間 (準備期間や後処理期間も含めてください) 平成31年4月1日～平成32年3月31日</p> <p>(2) 実施場所 市内公共施設や博物館ならびに公園や野外、キャンプ場など</p> <p>(3) 受益対象者 一宮市内在住の親子、市民</p> <p>(4) 実施体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例会を毎月第2土曜日に開き、子育ての悩みや、教育の話しを中心に会員相互の学び合いを行う。その中で「親子でトライ」や「教育講演会」等を企画する話し合いも行う。 ・例会の中で活動計画の具体化が不十分な場合は臨時にスタッフ会議をもうけ、具体化を図る。 ・規模の大きな取り組み (教育講演会やキャンプなど) は実行委員会を組織し、会員に参加を呼びかける。 <p>(5) 具体的な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子や教師がいっしょに楽しみながら学ぶ活動をする。 また、親たち、子どもたちが互いに関わり、交流する場を作る。 協力・共同して活動することを学んだり、子育ての悩みを出し合ったりして問題を共有する。 ・活動の場としては「親子でトライ」(音楽・絵手紙・天体観測や理科の実験・自然観察・工作や草木染め・漢字の学習や歴史の学習・野外活動)を行う。 ・キャンプは「親子でトライ」の規模を大きくしたものとして行う。 具体的な活動は山遊び・川あそび・を中心に、薪割・ドラム缶風呂・料理(カレーや流しソーメンなど)・野外向きの理科実験・クラフトなど親子で参加するものを計画する。 ・「つどい」は教育講演会だけでなく、親が安心して話が聞けるよう、子ども広場を開設し、親も子も学び・楽しめる場とする。保育の必要な幼児、小中学生も楽しめる工作や科学実験を計画する。 ・出前授業では担当スタッフが子ども会、保育園、小学校など子育てに関わる各種団体からの要請に基づき講師を派遣する。 ・父母・市民の要請に基づき子育て相談活動を随時行う。

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4 (片面印刷) とする。

備考2 ページ数は2ページまでとする。

<p>事業のふりかえりとその生かし方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプなど年1回のイベントに参加するだけに終わらないよう、学びの場である例会や教育集会への企画・運営を呼びかけ、父母の参加を増やすようにした。 ・今までのスタッフが高齢化して、出前授業の要望に応えきれなくなっているので会員にも講師を要請していく。 	
<p>当該事業を実施する理由</p> <p>※目指す地域・社会像や、事業を実施することにより、どのような課題が解決され、どのように目指す地域・社会に近づくか等を記載してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・核家族化の進行と、過激な競争社会において、虐待、いじめ、不登校などさまざまな問題が生じている。その背景には、人が孤立していることも大きな原因であると思う。したがって問題解決のためには、親子と教師がつながり合う「親子でトライ」の活動が有効であると考えます。 ・子育てには競争でなく共同。孤立でなく連帯が大切だと思う。連帯を作り出す場として子ども、教師、親が共に学び活動する場を作る必要がある。例会の「学び合い」や「親子でトライ」の場を通して子育てに悩み、孤立している親たちが交流し、学び合う場となるであろう。 ・学校・学童・保育園や子ども会などの要請に基づき、「出前授業」を行うことが子育てにも貢献できるであろう。 	
<p>費用負担について</p> <p>※受益者負担が求められるかどうか、公金で実施する理由などを記載してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味や学習を目的とする、塾や講座は数多く行われ、利益を出している。しかし、子ども会、学童保育、学校で行う「出前授業」に対しては、受益者が受ける利益に応じた謝礼を出せる団体は少ない。時には材料代・交通費でさえ出せない団体もあり、無償のボランティア活動になる場合もある。これらの出前授業は公金による補助なくしては活動を続けにくい。 ・健やかな児童・生徒の成長発達を願って活動する「親子でトライ」の活動は親子・教師のつながりを深め、気軽な教育相談の場所としても役立つ。それがまだ不十分であると思われるので、本制度のような補助金による支援が是非とも必要である。 	
<p>事業スケジュール</p>	<p>時期（月）</p>	<p>内 容</p> <p>4月・5月 年間の取り組みの話し合い、計画作成。</p> <p>6月 「学び合い」「親子でトライ：ハイキング」</p> <p>7月 「学び合い」 キャンプ準備</p> <p>8月 「学び合い」「親子でトライ：キャンプ」</p> <p>9月 「学び合い」「親子でトライ：天体観測」</p> <p>10月 「学び合い」「親子でトライ：工作」</p> <p>11月 「学び合い」「親子でトライ：科学実験」</p> <p>12月 「学び合い」「親子でトライ：しめ縄作り」</p> <p>1月 「学び合い」</p> <p>2月 「一宮子どもと教育を語るつどい」の準備</p> <p>3月 「一宮子どもと教育を語るつどい」</p> <p>年間活動の振り返り、来年の計画に向けて話し合い。</p> <p>適宜 子育てについての相談活動。「出前授業」</p>

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4（片面印刷）とする。

備考2 ページ数は2ページまでとする。

一宮市市民活動支援事業に係る収支予算書

団 体 名 つなハピ
 事業の名称 子育て支援事業

収入

科 目	金額（円）	内 訳
一宮市支援金	318,933	
事業収入	0	
自主財源	159,467	<input checked="" type="checkbox"/> 会費収入・寄付収入より <input type="checkbox"/> 他事業の収入より <input type="checkbox"/> その他（ ）
計	478,400	

支出

科 目	金額（円）	左記のうち 支援金算出額（円）
報償費	161,000	161,000
旅費	52,400	52,400
印刷製本、消耗品費	50,000	50,000
食糧費	1,500	1500
通信費、手数料	94,800	94,800
備品費		
人件費	92,700	92,700
使用料、賃借料	26,000	26,000
その他		
計	478,400	478,400

支出科目の内訳

科 目	金額 (円)	内 訳 ^{※1}
	支援金算出額 (円)	
報償費	161,000	一宮子どもと教育を語る集い講師料 (含交通費) @80,000 円 ×1 回=80,000 円 同集い保育士@4,000 円×4 人=16,000 円 同集い出演児童謝礼品 500 円×10 人=5,000 円 外部講師@ 5,000 円×延べ 6 人=30,000 円 内部講師@3,000 円×延べ 10 人=30,000 円
	161,000	
旅費	52,400	キャンプスタッフ燃料費@20 円×100 km×2 回×5 台=20,000 円 高速料金@1,650 円×2 回×8 台=26,400 円 親子でトラ イ講師旅費@3,000 円×2 人=6,000 円
	52,400	
印刷製本、 消耗品費	50,000	文具・消耗品費 20,000 円 印刷用紙 20,000 円 印刷費 10,000 円
	50,000	
食糧費	1,500	つどい講師昼食代 1,500 円
	1,500	
通信費、 手数料	94,800	チラシ等郵送費@100 円×72 人×7 回=50,400 円 集い案内は がき@62 円×200 人=12,400 円 集い案内郵送費@100 円× 230 人×1 回=23,000 円 キャンプ保険料 100 円×60 人= 6,000 円 集い保険料@100 円×30 人=3,000 円
	94,800	
備品費 ^{※2}		
人件費	92,700	集い事務作業@900 円×2h×3 人=5,400 円 キャンプ作業@ 900 円×7h×13 人=81,900 円 集いチラシ等作成@900 円×3h ×2 人=5,400 円
	92,700	
使用料、 賃借料	26,000	集いホール会場費 20,000 円 会場費@3,000 円×2 回=6,000 円
	26,000	
その他		

※1 一部が「支援金算出額」となる場合は、その該当分のみを () 書きで再掲してください。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 (片面印刷) とする。